

小豆島における移住者 増加に関する要因の解明

井上小由季*・八重樫香花*・篠原舞*・

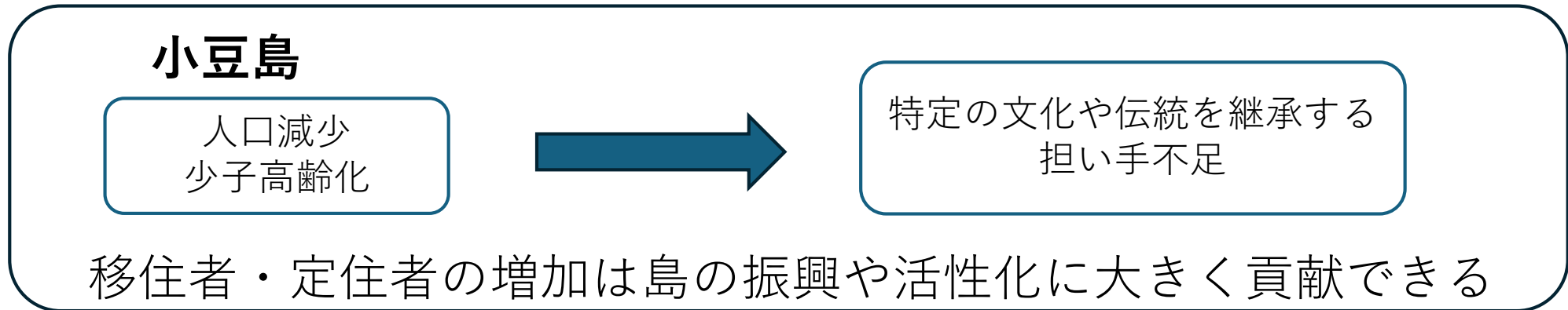
及川怜*・中村正明**・田中裕人*

*東京農業大学 国際食料情報学部

**東京農業大学客員研究員

① はじめに

本研究の目的



**移住者を対象にアンケート調査を実施し、
移住者・定住者を増加させるための要因を明らかにする**

小豆島を調査地とした理由

本島からのアクセスが比較的良く、生活インフラが整備されている離島であるのにも関わらず、人口減少が課題となっているため、その原因を知る必要があると考えたから。

① はじめに

小豆島について

小豆島は一島二町(土庄町・小豆島町)からなる。

【人口】 26,077人(令和6年1月現在)

【面積】 153.6km²

【標高】 816m

【年間観光客数】 推定91.6万人(令和5年時点)

【アクセス】 「小豆島フェリー」高松港→土庄・池田港(約60分)

「高速船」高松港→土庄港(約35分)

高松港から約22kmに位置する。日本の地中海と呼ばれ、1年を通して温暖な気候に恵まれている。エンジェルロードやオリーブ公園、中山千牧田など周囲を自然に囲まれた島ならではの人気スポットが満載。また、400年の伝統がある醤油や素麺など、昔ながらの食文化が息づいている。

② 移住実態

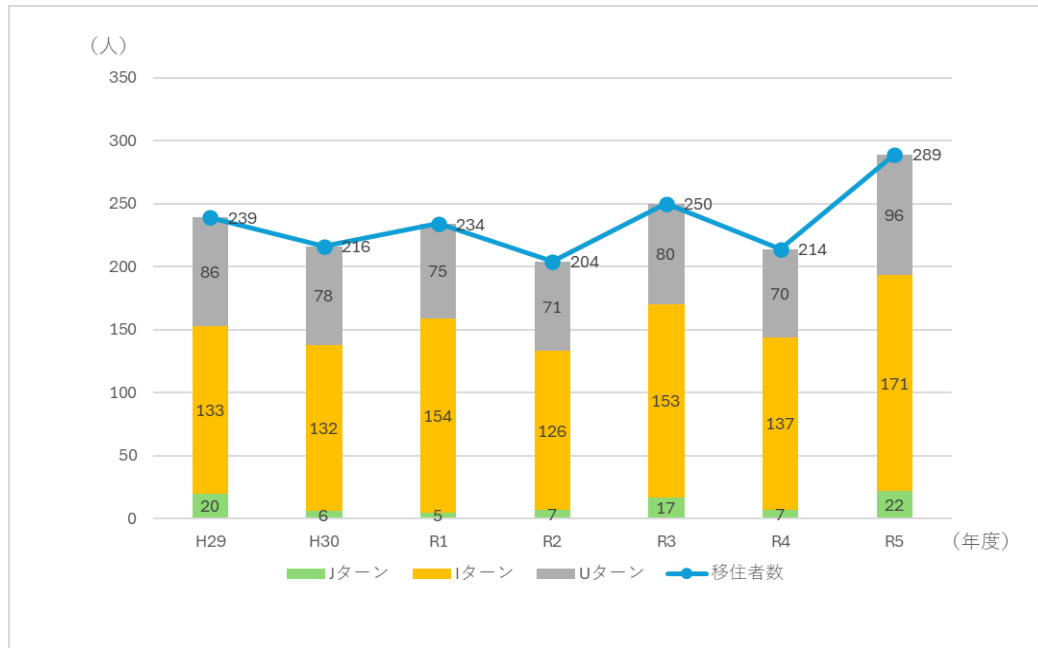


図1 移住者の推移（土庄町）

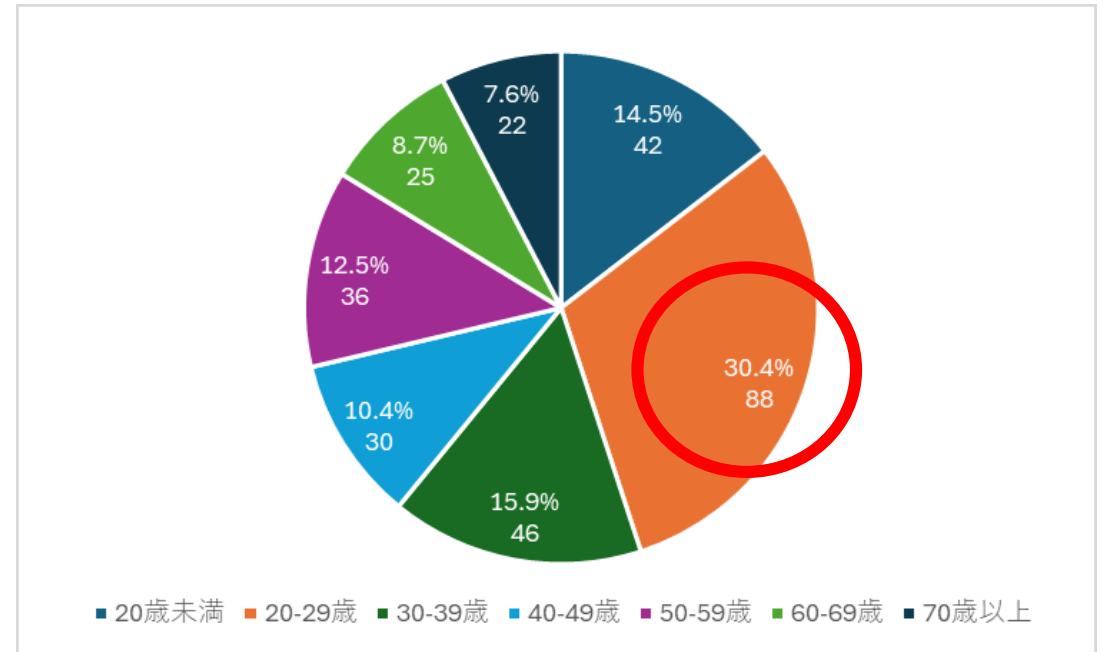


図2 R5移住者年齢別内訳（土庄町）

② 移住実態

土庄町移住促進事業

移住交流施設『島ぐらし体験の家』

空き家バンク制度

空き家リフォーム支援事業

補助金事業

移住定住促進賃貸住宅家賃等補助金
若者住宅取得支援事業補助金
東京圏UIターン移住支援事業補助金 等

② 移住実態

NPO法人Totie（トティエ）

土庄町、小豆島町の行政区の壁を越え、地域課題に取り組んでいく体制を構築。

移住・定住促進に向けた連携体制

小豆島移住・交流推進協議会

小豆郡二2町(土庄町、小豆島町)
土庄町自治会連絡協議会
小豆島町自治連合会
宅建協会小豆支所
土庄町公共職業安定所
香川県 地域活力推進課
広域行政事務組合

協力
・
連携

NPO法人Totie

【活動内容】

- ・移住定住促進
- ・空き家、空き地活用
- ・島内イベント企画運営 等

地域おこし協力隊

移住・定住関連業務の隊員3名(R6.5現在)

③アンケート調査について

調査方法

- ・日時 : 2024年7月～8月中旬
- ・対象 : 小豆島の移住者。 (対象者は土庄町の役場職員の協力をいただき選定)
- ・回答方法 : Googleフォームを利用

(アンケートフォームのアクセス方法として調査の依頼文に調査票にリンクするQRコードを掲載)

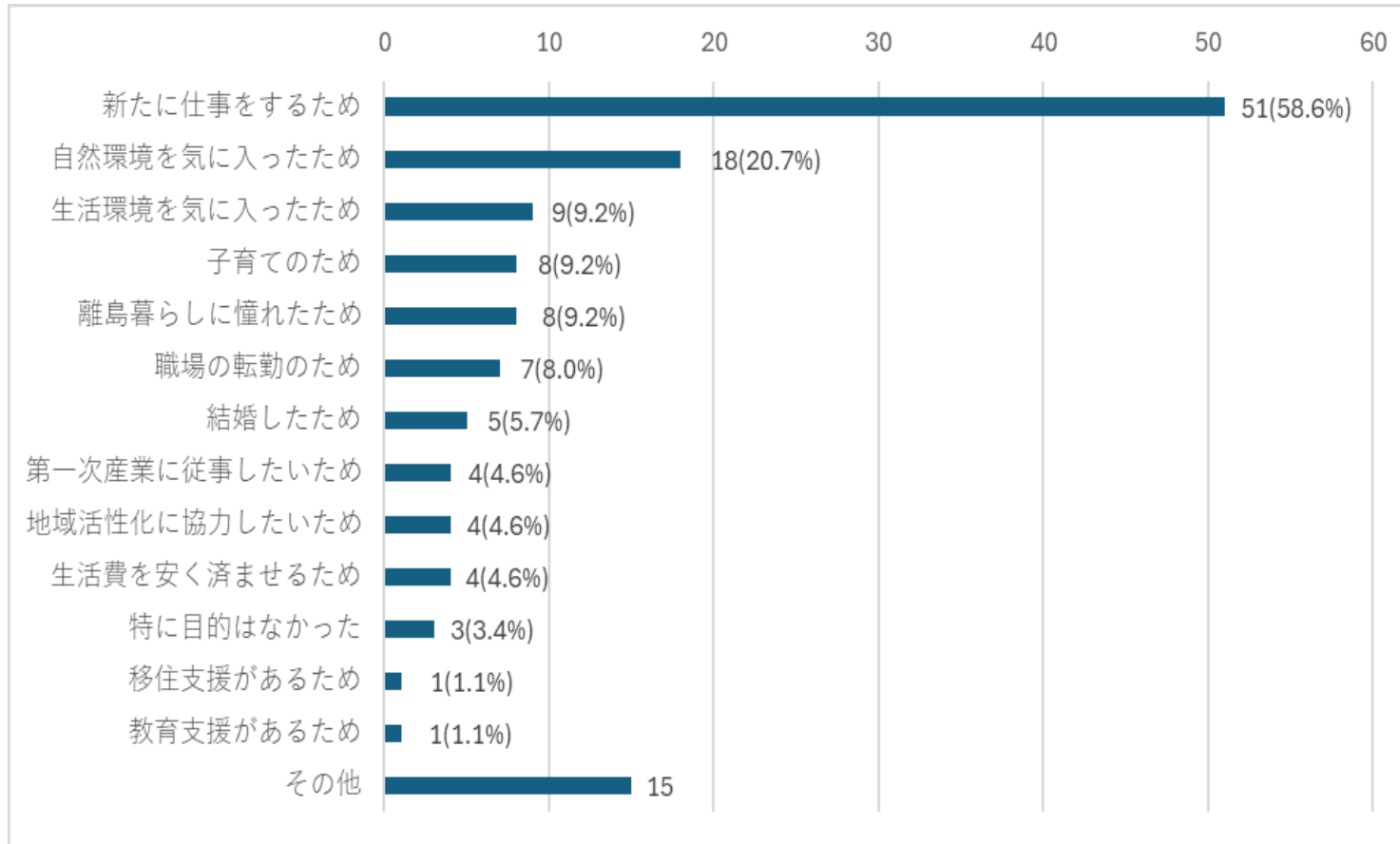
③アンケート調査について

アンケート集計結果

表1 年齢と性別のクロス集計

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	1	9	15	18	9	2	54
女性	0	8	15	6	2	0	31
答えたくない	0	2	0	0	0	0	2
合計	1	19	30	24	11	2	87

③ アンケート調査について



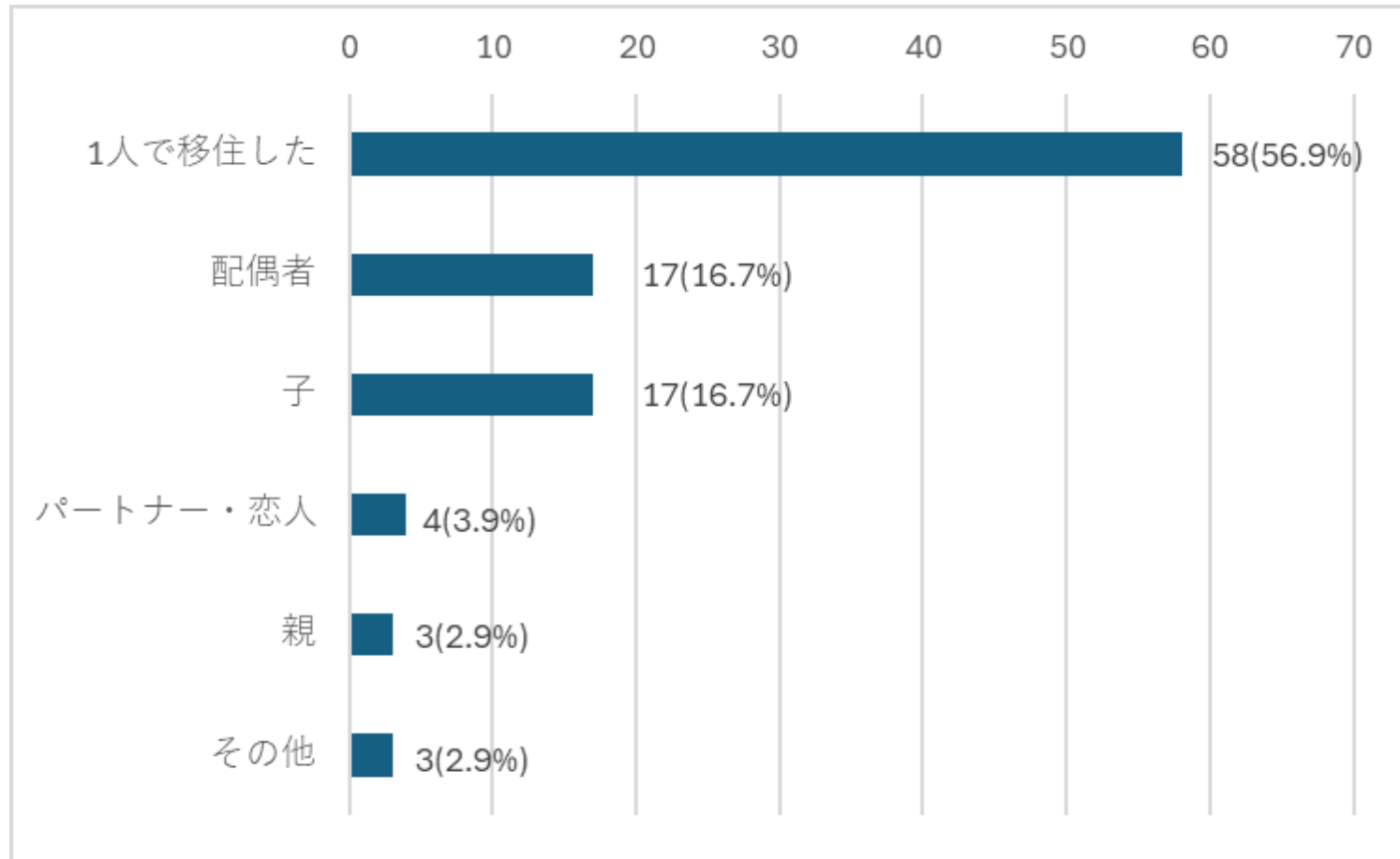
最も多い回答
「**新たに仕事をするため**」

次に多い回答
「小豆島の**自然環境を
気に入ったため**」

その他の回答
「子育てのため」
「離島暮らしに憧れたため」
など

図3 小豆島に移住した目的（複数回答）

③アンケート調査について

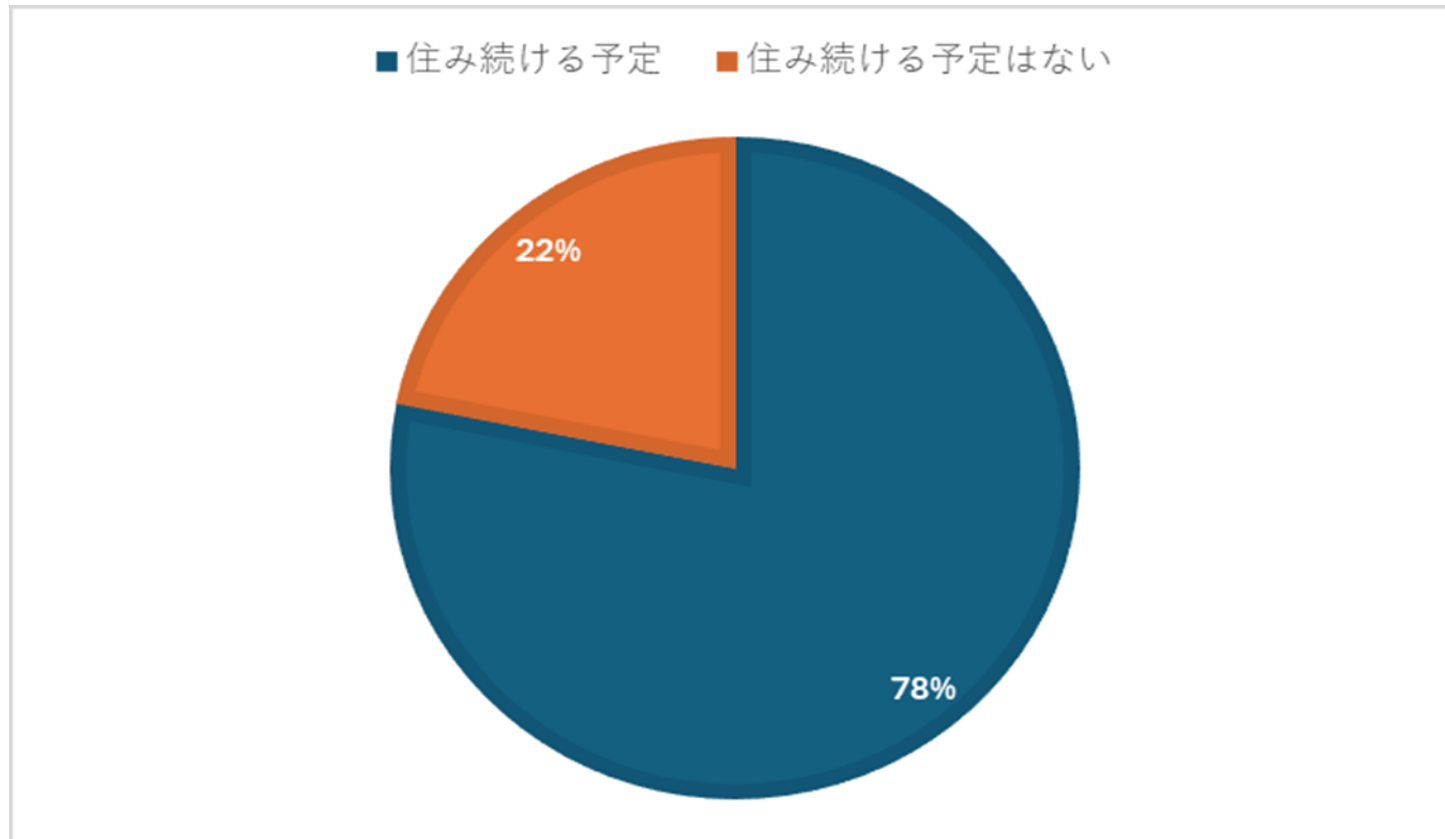


最も多い回答
「**1人で移住した**」

次に多い回答
「**配偶者**」「**子**」

図4 小豆島の移住に帯同した方

③アンケート調査について



約**8割**が
「住み続ける予定」と回答



小豆島に移住して、
小豆島を気に入り、
そのまま住み続けようと
考えている移住者が多い。

図5 小豆島に生涯住み続ける予定かどうか

③アンケート調査について

空き家バンクの利用が
かなり少ない。

表2 居住形態と住宅の情報入手方法のクロス集計

	不動産会社の 仲介	空き家 バンクの仲介	小豆島に住ん でいる人から の紹介	家族・親族が 住宅を所有し ていた	その他	合計
所有一戸建て	6	1	6	25	14	52
所有マンショ ン・アパート	2	0	0	0	1	3
賃貸一戸建て	2	3	6	1	1	13
賃貸マンショ ン・アパート	9	1	0	0	3	13
寮・社宅	0	0	0	0	3	3
実家	0	0	0	2	1	3
合計	19	5	12	28	23	87

③アンケート調査について

表3 移住の際の重要度の平均値

項目	平均値
病院の利便性	4.52
仕事の選択肢	4.47
仕事があっせん	4.46
島外交通アクセス	4.39
子育て支援	4.32
十分な給与の確保	4.28
地域での人間関係	4.23
保育園・幼稚園の整備	4.17
小・中学校の整備	4.16
買い物の充実	4.15
介護施設の利便性	4.11

高校の整備	4.07
島内交通アクセス	4.05
自然の豊かさ	3.99
飲食店の整備	3.95
気候の良さ	3.85
物価の安さ	3.80
娯楽施設の充実	3.76
移住者のネットワーク	3.70
習い事の充実	3.69
塾などの教育支援	3.66
実家からの近さ	3.30
マリンスポーツの充実	3.08

病院の利便性、
仕事の選択肢、
仕事があっせん等、
**生活の利便性に関する
ことが上位**

③アンケート調査について

因子分析

表4 小豆島の移住者増加検討における項目別重要度の因子分析結果

固有値	寄与率(%)	累積寄与率(%)
7.669	33.342	33.342
2.318	10.076	43.419
1.930	8.391	51.810
1.566	6.807	58.617
1.251	5.438	64.055

③アンケート調査について

問 小豆島の移住者の増加を検討する際に、下記の項目(表5左記)はどの程度重要になると思いますか。あなたの経験をもとにお答えください。

表5 因子負荷量

	1	2	3	4	5
娯楽施設の充実	0.930	-0.037	-0.229	-0.031	0.011
飲食店の充実	0.875	0.056	-0.079	0.065	-0.146
物価の安さ	0.679	-0.144	-0.005	0.297	-0.092
買い物の利便性	0.634	0.112	0.046	-0.209	0.038
十分な給与の確保	0.443	0.020	0.296	-0.104	0.058
島外への交通アクセス	0.338	0.136	0.135	0.118	0.062
小・中学校の整備	-0.029	0.996	-0.045	0.062	0.029
保育園・幼稚園の整備	0.025	0.825	0.140	0.059	-0.066
高校の整備	0.043	0.714	-0.090	0.052	0.081
子育て支援	0.054	0.385	0.169	0.177	0.132

仕事の選択肢	-0.046	0.011	0.736	0.022	-0.167
仕事のあっせん	-0.314	0.031	0.605	-0.028	0.073
介護施設の利便性	0.311	0.039	0.560	-0.120	0.019
地域での人間関係	-0.054	-0.120	0.527	0.337	0.032
島内の交通アクセス	0.067	0.043	0.510	0.050	0.066
病院の利便性	0.364	0.184	0.429	-0.202	-0.057
自然の豊かさ	-0.112	0.249	0.019	0.670	-0.198
気候の良さ	-0.099	0.131	0.062	0.624	-0.024
マリンスポーツの充実	0.044	-0.083	-0.041	0.612	0.221
実家からの近さ	0.356	0.038	-0.232	0.412	-0.060
移住者のネットワーク	0.157	-0.235	0.375	0.404	0.142
塾などの教育支援	-0.136	0.051	0.024	-0.028	1.045
習い事の充実	0.353	0.191	-0.193	-0.001	0.518

③アンケート調査について

結果

- ・ **第1因子 日常生活の利便性や金銭面の充実**

娯楽施設の充実、飲食店の充実、物価の安さ、買い物の利便性、十分な給与の確保、島外へのアクセス

- ・ **第2因子 教育、子育て環境の充実**

小・中学校の整備、保育園・幼稚園の整備、高校の整備、子育て支援

- ・ **第3因子 生活基盤の充実**

仕事の選択肢、仕事のあるせん、介護施設の利便性、地域での人間関係、島内の交通アクセス、病院の利便性

- ・ **第4因子 自然環境・社会環境の充実**

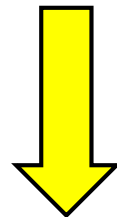
自然の豊かさ、気候の良さ、マリンスポーツの充実、実家の近さ、移住者のネットワーク

- ・ **第5因子 教育環境の充実**

塾などの教育環境、習い事の充実

④考察

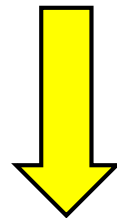
第1因子に「十分な給与の確保」が含まれている
給与の重要性を認識している



新たな移住者を増やす & 住民の満足度を上げ、
定住につなげるには**給与の底上げが重要**

④考察

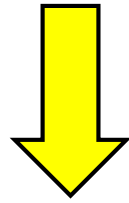
第4因子に「自然の豊かさ」が含まれている
自然環境を気に入って移住してきた人は
約20%と比較的**高い**



定住につなげるということよりは
移住者を増やすために**自然環境の保全が必要**

④考察

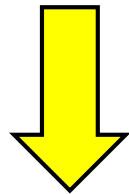
空き家バンクの利用者が約6%と非常に少ない



移住希望者からの空き家バンクへの問い合わせが
成立に結び付かない**原因の究明、行政以外の民間
団体の柔軟な対応が必要**

④考察

小豆島に**住み続ける意思**がある人が**多い**
教育、子育て支援の充実の重要度が高いと考えている



教育・子育て支援の充実が持続的な人口維持につながる